

昨年度訓練との変更点

● 帰宅困難者役の増員

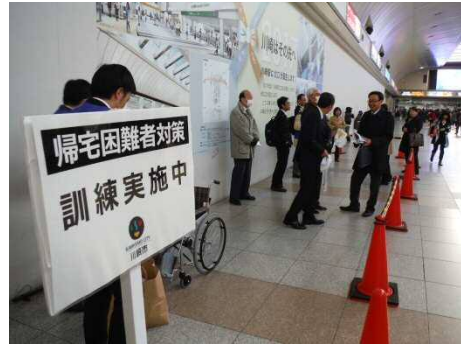
H26：60名程度

→H27 案：200名程度（前回の約3倍）

◇変更理由

H26 訓練にて、帰宅困難者役が過少なため
臨場感に乏しいとの意見があったため。

（アンケート結果：「訓練条件が良すぎる」、「実際はもっと混乱状態になるのでは」）



改訂後

改訂前

● 改良した一時滞在施設マップの利用

H27 年 4 月から一時滞在施設マップを
改訂し、各駅に配付。

改善点としては、

レイアウトを縦型から横型へ変更し、
駅周辺の拡大図を追加、
施設の位置や距離を正確に反映した。

◇変更理由

H26 訓練にて、帰宅困難者役から

一時滞在施設マップが分かりにくいとの意見があったため。

（アンケート結果：「教育文化会館が近くに見える」、「地図が大雑把である」）



● 情報伝達手段の追加

アゼリアビジョン（東西自由通路）

デジタルサイネージ（川崎アゼリア内）

ホワイトボード等（各駅、各開設施設）

かわさき Wi-Fi 利用

（利用可能施設（ミュージア川崎、産業振興会館、教育文化会館、幸市民館））

◇変更理由

帰宅困難者の不安を解消し、混乱を防止するためには、迅速かつ正確な情報提供が必要であるため。

（アンケート結果：「情報が少なく不安」、「説明や指示が聞こえない」、「現実には細かい誘導は困難」）

アゼリアビジョン



デジタルサイネージ
（イメージ図）



● 一時滞在施設における受入手順の確認

チェックリストを用いた施設の安全点検及び利用者名簿への記載

◇変更理由

チェックリストを用いた施設の安全点検の実施、受入の留意事項を記載した利用者名簿への署名と
いう手順を実動で確認するため。